

編集後記

環境科学部年報 24 号の特集では、「地域に根ざした環境科学」と題し、様々な地域において幅広い分野にわたる本学部教員の研究・教育活動を紹介しました。滋賀県立大学は、「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」という基本理念を掲げています。2013 年度には「びわ湖ナレッジ・コモンズ-地と知の教育・共創自立圏の形成」事業が文部科学省の「COC事業」に、2015 年度には「びわ湖ナレッジ・コモンズ+〜地と知で拓く滋賀の創生」事業が同省の「COC+事業」に採択され、まさに地域に根ざした教育プログラムや地域課題研究が行われてきたところです。これからも、地域と大学の双方にメリットのある関係が築かれ、深められていくことが期待されます。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらず執筆いただきました皆様、誠にありがとうございました。

環境科学部年報委員会

委員長 皆川 明子
委員 吉山 浩平 (環境生態学科)
上河原 献二 (環境政策・計画学科)
川井 操 (環境建築デザイン学科)
中川 敏法 (生物資源管理学科)

環境科学部 環境科学研究科

年報第24号 地域に根ざした環境科学

発行日 2020 年 3 月 31 日
発行所 滋賀県立大学 環境科学部
〒 522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL 0749-28-8301
発行人 井手 慎司
印刷所 有限会社 東呉竹堂ひがし印刷

表紙写真

左上：栗見出在家町水田でのフナの流出調査 (生物資源管理学科、大久保氏提供)
左下：てんぐ巣病 (生物資源管理学科、泉津氏提供)
右上：ホースセラピーパーク (環境建築デザイン学科、金子氏提供)
右下：沖島 (近江八幡市) での観光と地域づくりをテーマにした調査活動の成果報告・意見交換会 (環境政策・計画学科、平岡氏提供)

裏表紙写真

左上：伊吹山の植物の調査。シカによる食害を防ぐための柵の中で、自然再生協議会員と学生が行った。(環境生態学科、野間氏提供)
左下：琵琶湖で水草を刈り取る刈り取り船「ゲンゴロウ」(井上栄壮博士撮影)
右上：沖島 RYUBOKUHAT (環境建築デザイン学科、芦澤氏提供)
右下：クリーンセンター滋賀環境監視委員会での会議風景 (公益財団法人滋賀県環境事業公社提供)